

リトルシニアチームの選手及び保護者によるキャリア選択の要因について明らかにする研究

Research which clarifies the factor of the career selection in a little senior team player and a guardian

1K10C219-8 榛葉 龍太郎
主査 間野義之 先生 副査 木村和彦 先生

【目的】

今日、中学生の野球を学ぶ体型は多様化している。

公益財団法人日本中学校体育連盟野球専門部（以下中学校軟式野球部）をはじめ、リトルシニアリーグ（財団法人全日本リトルシニア協会）、ボーイズリーグ（財団法人日本少年野球連盟）など一つのスポーツにおいてこれだけの体型があるのは中学野球だけである。そしてこれらの中学野球組織は、それぞれルール、用具、活動地域などによって区別されるが、選手および保護者が何を要因として中学野球組織を選択しているのかという研究はまだなされていない。

本研究では、選手・チーム数ともに増加傾向にあるリトルシニアの視点から、現在の中学野球に求められているニーズを明らかにするとともに、中学野球が現在どのような要因によって選択されているのかを明らかにすることを目的とする。

【方法】

本研究では、中学野球組織の中でチーム数・所属選手数ともに増加傾向にある一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会の所属チームを卒業した3名（静岡県Kリトルシニア、静岡県Sリトルシニア、東京都Nリトルシニア）と、同じく同協会に所属しているチームの保護者3名（静岡県Kリトルシニア、東京都Kリトルシニア、東京都Kリトルシニア）の計6名の調査協力者の許可を得て、インタビュー調査を実施した。

インタビューの質問項目は、①なぜリトルシニアに入ろうと思ったのか、なぜ子供をリトルシニアへ入れたのかを主要な質問項目とする。

そして、この質問を掘り下げるために②リトルシニアに入ってよかったと思う点・子供をリトルシニアへ入れてよかったと思う点③リトルシニアでなくてもよかったと思う点の2つの質問項目を用意した。

得られたインタビューデータはすべて文章化し、蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものをつなぎ合わせて整理、統合する一つの手法である KJ 法によって分析した。

【結果】

中学野球をどの組織で学ぶかというキャリア選択は、中学校卒業後のキャリア形成を見据えて行われていることが分かった。そして、中学校卒業後も野球でキャリアを築いていくために、有能な指導者がいる、練習内容が充実している、練習環境が整備されている、進路が豊富にあるといったリトルシニアの活動の特性が必要であると、選手及び保護者が考えていることが分かった。一方で中学校の仲間と過ごす時間が短くなったり、十分な学習時間を確保することが難しいというデメリットが存在することも明らかになった。また、リトルシニアの活動を通して選手および保護者が、中学校卒業後のキャリア形成に必要な野球の技術が身に付くだけでなく、精神的に成長することができたり人格形成になったという本来の目的以外にも得るものがあつたと感じていることが分かった。

【考察】

硬式クラブには中学校卒業後のキャリア育成のための環境が整備されているが、中学軟式野球には指導者の質や練習環境において課題が存在する。一方で硬式クラブの選手は、中学校の仲間と過ごす時間が短い、学習時間の確保が難しいという問題を抱えている。中学校野球部を引退した選手に対して硬式クラブが練習環境を提供したり、硬式クラブと学校教育が情報共有をして選手の学習環境を構築・改善するなど、中学校と硬式クラブとの連携が問題解決の手立てとなるであろう。

また、中学校野球組織が今後も野球を通して子供の人間性を育てていくために、選手の技術指導のみに偏ることなく、人間性を育てていこうという意思を追求・確認していく姿勢が重要であると感じた。

今日の中学野球のキャリア選択におけるインタビューを通し、インタビュー対象者がリトルシニアでの活動に非常に強い満足感を得ていることが分かった。今後一人でも多くの中学生のニーズに応えるためにも、中学校野球組織の中で最も母体が大きい中学校軟式野球部の発展・課題の改善が大きな課題となるであろう。